

ふっと  
立ち寄りたくなる  
三鷹駅北口エリアへ



# OPEN STREETs で広がる未来

特集1



三鷹駅北口周辺の車道を使ってのびのびとした広場を生み出した「ENJOY OPEN STREETs 武蔵野」。

9月19日～22日の4日に開かれたこのイベントを

「何かやっているな？」と横目で通り過ぎた方もきっと多いはず。

まちに暮らす人同士はもちろん、通勤・通学に駅を使う人も巻き込んで、まちの中の出会いとつながりを増やそうという試みが動き始めています。



# 地域の魅力に自然に出会える空間を

人を集めるためのイベントではなく、まちを行き交う人々をつなぐ試みとは？

1

## 駅前と周辺道路に展開したイベント実施内容

### かたらいの道

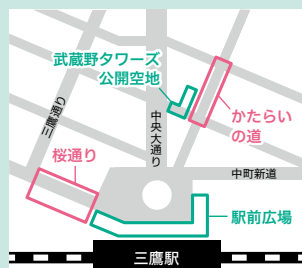
みちあそび、ミニサッカー体験、ラグビー体験、体操、かえっこ（おもちゃや絵本の交換）、地元企業の飲食ブース

### 桜通り

みちあそび、オリジナル缶バッジ&マイ箸を作ろう、えきいんとあそぼう、子ども向け体育スクール体験

### 同時開催

タワーズマルシェ@むさしの（武蔵野タワーズ公開空地）、三鷹駅北口商店会秋祭（駅前広場）



9月に開催されたイベント「ENJOY OPEN SPACES 武蔵野」は、三鷹駅北口の活性化を図って始まった新しい取り組みの一部です。地域の人が集まった「三鷹駅北口街づくりラボ（以下、三鷹ラボ）」を中心に、近隣の企業、団体と市などが協力して実現しました。

三鷹駅周辺は、企業や官公署が多く立地し、行き交う人もさまざま。公共交通機関の利用者数は1日で付近の人口を上回るほどのです。しかし、まちの人々が活用できる広場が十分ではないともいわれ、多くの人が集まってくるような広い空間の不足が課題の1つになっています。そこ

で、地域の住民、商店会、企業・団体の方々とともに、公共空間の活用について学ぶ三鷹ラボを平成30年度に5回開催し、講話や視察、ワークショップを通じて、さまざまな企画が提案されました。

三鷹ラボの目標は、集客イベント開催ではありません。人通り豊かな場所を活用して、地域の多様な個人や団体を自然と出会う空間を生み出すことです。

初の試みとなった9月のイベントの内容とその成果を通じて、三鷹ラボが見つめる三鷹駅北口エリアのこれから、地域の魅力が交差する未来の駅前空間を一緒に考えていきたいと思います。



1. 「みちあそび」としてチョークを使って道路に落書きを楽しんだ後、掃除のブラシがけも参加者で楽しんだ。
2. タワーズマルシェ@むさしのでの生音楽演奏で一带の雰囲気はいっそう楽しくなった。
3. かたらいの道では、地元飲食店による飲食イベントを開催。
4. ハンドベルづくりのコーナーは子どもたちに大人気。
5. 桜通りをのびのび使った、体育スクールの体験コーナー。

地域の人たちによる地域のための試み

## 「ENJOY OPEN STREETs 武蔵野」

三鷹駅北口エリアの公共空間を利用した社会実験として、まちのさまざまな企業・団体がブース出店と催しを実施。あえて平日を含めた開催日程にすることで、通勤・通学でまちを歩く人たちとも接点をつくり、いろいろな目的で駅を往来する人たちが自然に交差する空間を生み出しました。

### 道路を使った「社会実験」とは？

道路上でのまちのにぎわい創出や交通の安全確保を目的とした施策を実施する前に、市民生活や地域交通に与える影響などを検証するために、交通規制などを含む事業やイベントなどを場所や期間を限定して試験的に実施することです。

### 9月開催までの経緯

平成29年5月に市が策定した「三鷹駅北口街づくりビジョン」をきっかけに平成30年に三鷹ラボを開催。地域課題への対策として、新しい公共空間の活用が展開されることを目指し、意見交換と準備を続けてきました。



#### 1. 「ラボ」の成り立ち

まちに関わる人たちが連携してまちづくりを展開していくことを期待し、地域の住民、商店会、企業・団体の方が街中の使い方を学ぶ場として「三鷹ラボ」を開催。



#### 2. 多様な関係者での検討

勉強会や意見交換を重ねながら、街中を使うアイデアをふくらませ、イベント開催に挑戦することに。全5回の三鷹ラボを通じて、24の企業・団体による協力体制ができた。



#### 3. イベントを実現

市をはじめ警察、消防の協力も得て、駅前の道路を使ったイベントを計画。往来する人が自然に参加できるイベントを実現した。

## 座談会



## 子どもたちの 笑顔に手応え

— 9月のイベントについて感想  
はいかがですか？

**臺さん** 想像した以上にたくさんの方の参加があり、多くの笑顔を  
見ることができました。楽しめる  
場所を提供できれば人は集まるの  
だと、大きな手応えを感じていま  
す。

**中西さん** 約1年前からラボで企  
画を検討してきました。車道を封  
鎖して道路でイベントができるこ  
とになり、子どもたちの遊び場つ  
くりをしようと思さまざまな企画を  
立てました。普段は遊べない道路  
での体験に、子どもたちが喜ぶ姿  
が印象的でしたし、子ども同士の  
出合いの場もつくり出せました。  
一緒にいた大人も開放感を味わえ、

# チャレンジから見えた まちの未来と可能性

三鷹駅北口エリアは今後どうなっていくのか。  
三鷹ラボに参加する3名に伺いました。

楽しんでもらえたようです。

**吉田さん** これまで「タワーズマ  
ルシェ@むさしの」を運営してき  
ましたが、今回はそうしたとき以  
上にたくさんの人でにぎわいまし  
た。全体の雰囲気としても活気が  
みなぎっていたと思います。開催  
できて良かったです。

**臺さん** 今回は子どもたちの遊び  
場をうまくつくくれたので、次回は  
大人の遊び場もつくりたいですな  
。

三鷹には飲食系企業も多いので、  
企業の方たちを巻き込んで、夜は  
アルコールも提供する食フェスの  
ようなことができれば、よりいっ  
そうさまざまな人が楽しめるイベ  
ントに成長するのではないかと思  
います。

**吉田さん** ほかに東京武蔵野シ  
ティFCへの応援の意味も込めて、  
例えばかたらしいの道からサッカー



吉祥寺や武蔵境とは  
違った、三鷹ならではの  
方向性を垣間見ました。

場までの道でイベントができるよ  
うにしたら、盛り上がるのではな  
いかと思います。

**中西さん** 今回、イベント中に綱  
引きを楽しむ人たちが自然発生的  
に現れました。次回はかたらしい  
道で大綱引き大会をしたいですな  
。子どもからシニアまで楽しめるイ  
ベントになりそうなので、想像す  
るだけでワクワクします。

臺 孝之 (だい・たかゆき) さん  
三鷹駅北口商店会 会長

参加者の多様性と、  
地域の潜在的な可能  
性の高さを感じた。  
(多摩信用金庫)

アイデアを出しな  
がら楽しく話せる  
新鮮な機会だった。  
今後も協力したい。  
(JR 東日本)

改めて地元で多数の企  
業と実績ある取り組み  
があることを実感した。  
(タツノコプロ)

ラボを通じ、企業が  
マルシェに関心を  
持ってくれた。  
(むさしのマルシェ  
実行委員会)

話し合った案を実  
現できたら面白い  
まちになり、人も呼  
べるようになる。  
(八丁商和会)

勉強会での講演が非  
常に参考になり、仕  
事のヒントにもなっ  
た。(武蔵野法人会)

「まちづくり」を箱モ  
ノではなくにぎわい  
から作る考え方が新  
鮮だった。(東京電力  
パワーグリッド)

仕事で地域の方と接す  
る機会がなかったので、  
楽しく有意義だった。  
(NTT クラリティ)

## 三鷹ラボの活動を 振り返って

これまでの議論や検討に参加し  
た団体・企業は、三鷹ラボを通  
じて、今後の地域の連携とまち  
づくりに、どんな可能性を見い  
だしたのでしょうか。三鷹ラボの  
ニュースレターに寄せられたコ  
メントの一部を紹介します。

活気のみならず、イベントを実現できて、本当に良かったと思います。



吉田夏子 (よしだ・なつこ) さん  
むさしのマルシェ実行委員会 出店マネジャー

### 三鷹駅北口らしさを求めて

——活動を通じて、今後、どんなまちにしたいですか？

**臺さん** 吉祥寺は商業のまち、武蔵境は学生のまちというイメージがあります。その一方で三鷹駅北口は市の表玄関でありながら、印象の薄いエリアでした。だからといってほかと張り合う必要はないと私は考えています。では、どんなまちにするのか。その方向性が今回、少し見えたと思います。

**吉田さん** 人が集えばそこに交流が生まれ、結果として知り合いが増えてさらに足を運びたくなるといふ好循環が生まれると考えてい

ます。三鷹駅北口は緑が多く、憩える空間もたくさんあります。それらの資源を活用しながら、いろいろな世代にとって身近な場所、住みやすいまちにしていければと思います。

**中西さん** 昔ながらの個人商店と多く集まっている飲食関連企業、そして新しく住人となった子育て世帯とが連携できるまちづくりをしたいと思います。今回知り合った子育て世代の方々から「次回は協力したい」という声もいただいています。できるだけ多くのプレーヤーを巻き込んで、多彩なアイデアを結集させたまちづくりを実現したいです。

### 市民の力でまちづくり

——今後のまちづくりで大切なことは何でしょうか？

**臺さん** 道路の使用許可を取るのとはとても大変で、市・警察の協力あってこそなので、そこは維持しつつも、市民が作りみたいと願うまちの実現が大切だと考えています。三鷹駅は北口と南口で武蔵野市と三鷹市に分かれますが、市民主体なら市境を越えた連携ができ、

そうした場所ならではのまちづくりができると思っています。

**吉田さん** まちづくりというと敷居が高いと感じる人もいます。まずはイベントなどに参加してもらうことから始め、そうすることで、まちに愛着が生まれ、まちづくりも自然に意識するようになるのではないのでしょうか。

**中西さん** 私たちが暮らすまちですから、やはり市民が引っぱってまちづくりをするのが理想的です。今後どれだけの市民をプレーヤーとして巻き込めるかが重要ではないでしょうか。今回実現できたことを発信しながら地道に仲間の輪を広げていくことが大切だと思います。

今回は協力したいという方にも出会え、発展性を感じました。



中西信介 (なかにし・しんすけ) さん  
まち“が”ほいくえん発起人  
まちの保育園 吉祥寺 コミュニティコーディネーター (育児休業取得中)

### 三鷹ラボでこれまで出てきたまちづくりのアイデア例

- 養蜂箱を置いて、まちのなかでハチミツをつくる
- アニメスタジオの協力で、道や地下道にトリックアートやきれいな絵を施す
- 道に囲碁盤や将棋台を設置して、通りかかった人が自由に遊べるようにする
- 道にウォータースライダーを設置して大規模な水遊びをする
- 夜にはアルコールを出す大人向けの店を含めた飲食イベントをする
- かたらいの道で子どもも大人も楽しめる大綱引き大会をする



今回実現した企画は、ワクワクする多数のアイデアの一部に過ぎません。地域の人々の参加と協力が増えれば、今後もさらに面白い場ができるはずです。